



Heart of Electronics

«2019年3月期»

決算説明会

2019年5月8日

エレマテック株式会社

東京証券取引所 市場1部 CODE : 2715

URL : <http://www.elematec.com>

IR 問い合わせ先 : 経営企画・人財開発部 E-mail: ir@elematec.com TEL: 03-3454-3526

本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2019年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

決算報告

2019年3月期

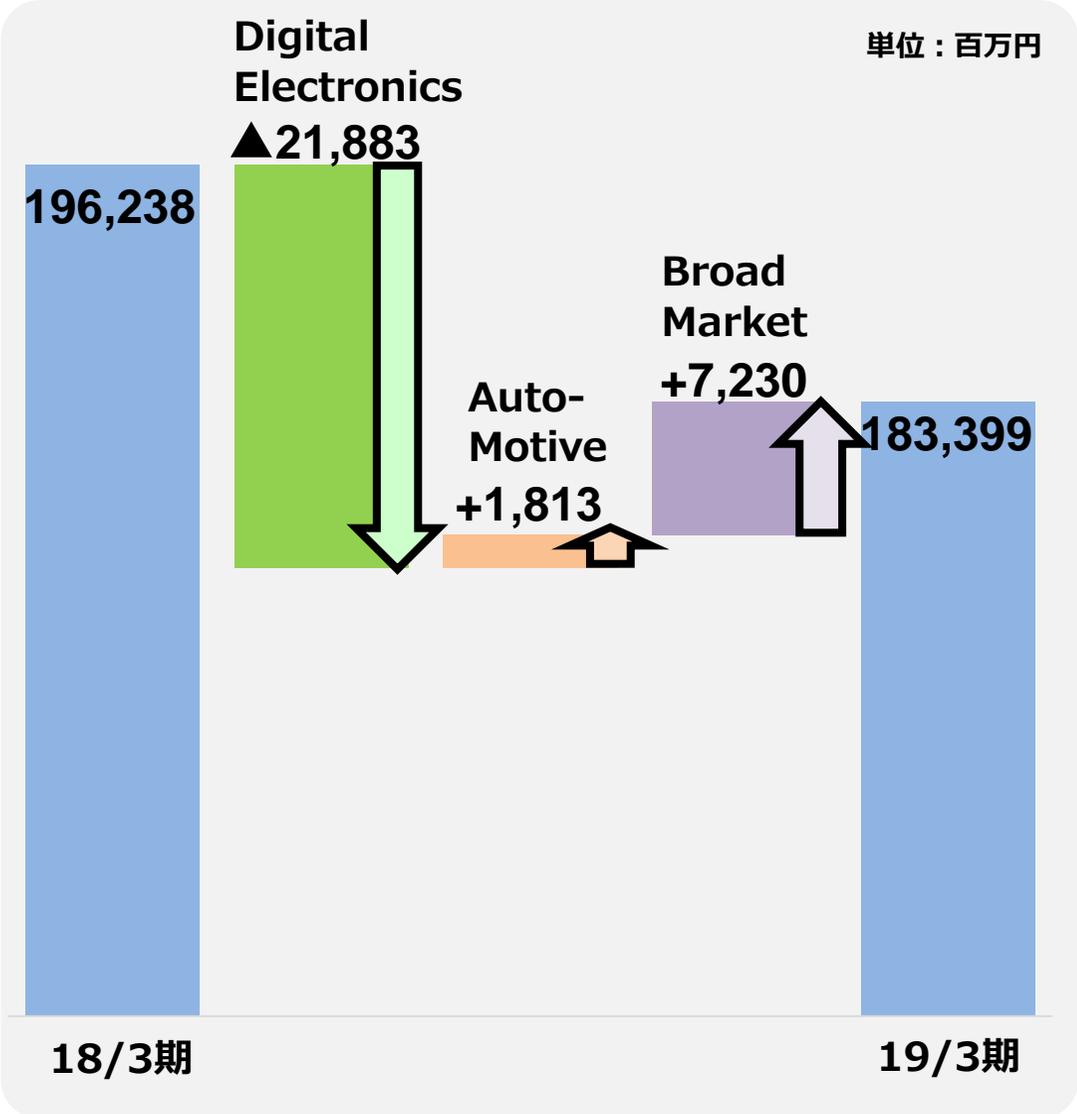
e|em

決算ハイライト

単位：百万円	18/3期 (USD=110.85円)	19/3期 (USD=110.92円)	前期比	増減要因
売上高	196,238	183,399	▲6.5%	スマートフォン関連部材の 販売減に伴う減収
売上総利益	18,886	18,384	▲2.7%	減収に伴う減益
売上総利益率	9.6%	10.0%	+0.4pt	高付加価値ビジネスの増加 により利益率は上昇
販売管理費	12,405	12,048	▲2.9%	貸倒引当金減少に伴う減
営業利益	6,480	6,335	▲2.2%	
経常利益	6,085	6,188	+1.7%	
当期純利益	4,376	3,364	▲23.1%	【特殊要因】 当社グループ内配当方針の 見直しに伴い、繰延税金負債を 計上した結果、法人税等調整額 が10億84百万円増加
EPS	213.76円	164.34円	—	
ROE	9.5%	6.9%	—	
1株当たり配当金	65円	66円	—	

マーケット別売上増減要因

前期比 売上高増減内訳



主な増減要因

Digital Electronics

【前期比】 ▲21,883百万円(▲19.5%)
(112,123百万円 ⇒ 90,240百万円)

- 液晶・TP・BL ▲23,610百万円
- 黒物家電 ▲1,919百万円
- カメラ・カメラモジュール +1,228百万円

*TP・BL=タッチパネル・バックライト

Automotive

【前期比】 +1,813百万円(+7.3%)
(24,966百万円 ⇒ 26,780百万円)

Broad Market

【前期比】 +7,230百万円(+12.2%)
(59,148百万円 ⇒ 66,379百万円)

- アフターマーケット +4,836百万円
- 医療機器 +1,570百万円

販売費及び一般管理費の状況

単位：百万円	18/3期	19/3期	増減額	増減要因
人件費	6,136	6,230	+93	人員増、昇給等による増加
荷造運賃	2,011	1,978	▲33	減収に伴う減少
その他	4,257	3,840	▲417	貸倒引当金減少に伴う減
販売管理費	12,405	12,048	▲356	売上高販管費率 6.3% ⇒ 6.6%

繰延税金負債の計上

■背景

グループ内配当方針の変更

目的

- 連結ベースでの資金の効率化
- 為替リスクの低減



連結子会社から当社への配当方針変更
 ⇒ **より多くの配当金を連結子会社から回収**

■会計処理

税効果会計：当社が**将来**の配当受取時に納付すると想定される税金総額を繰延税金負債に計上

- ① 海外連結子会社が所在する各国で課される海外源泉税
- ② 当社が受け取る配当金に対する日本で課される本邦法人税



繰延税金負債計上額
10億84百万円

ポイント

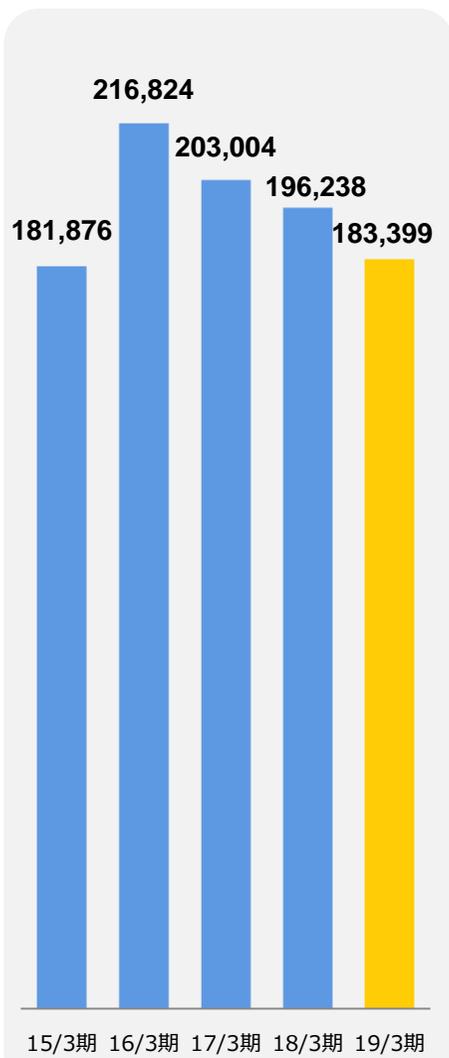
- 上記会計処理により、法人税等調整額が増加し**一時的に当期純利益が減少するものの当社の収益力低下を意味するものではありません**
- 現時点で現金支出を伴うものではないため、配当額はその影響を排除して試算しています

■特殊要因を控除した業績推移

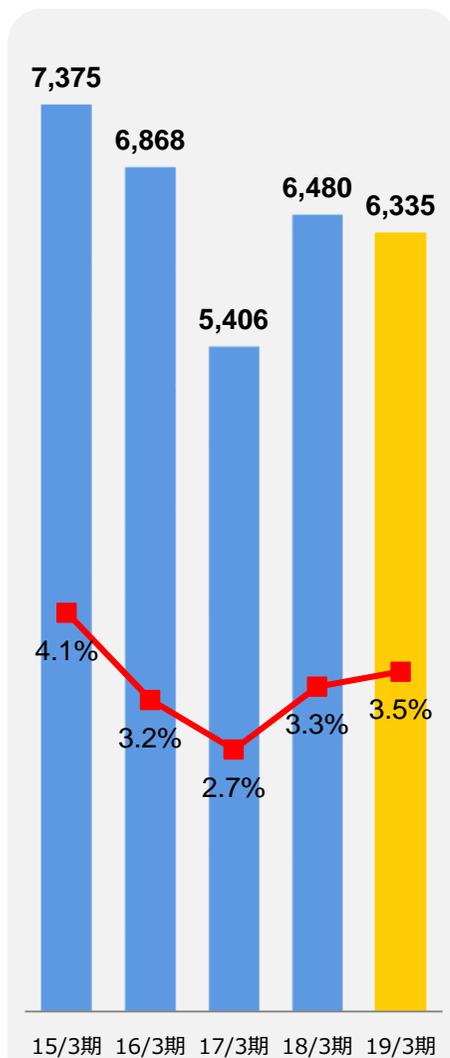
単位：百万円	17/3期	18/3期	19/3期 (実績)	19/3期 (特殊要因控除後)
当期純利益	1,342	4,376	3,364	4,448
EPS	65.57円	213.76円	164.34円	217.30円
ROE	3.0%	9.5%	6.9%	9.1%

単位：百万円

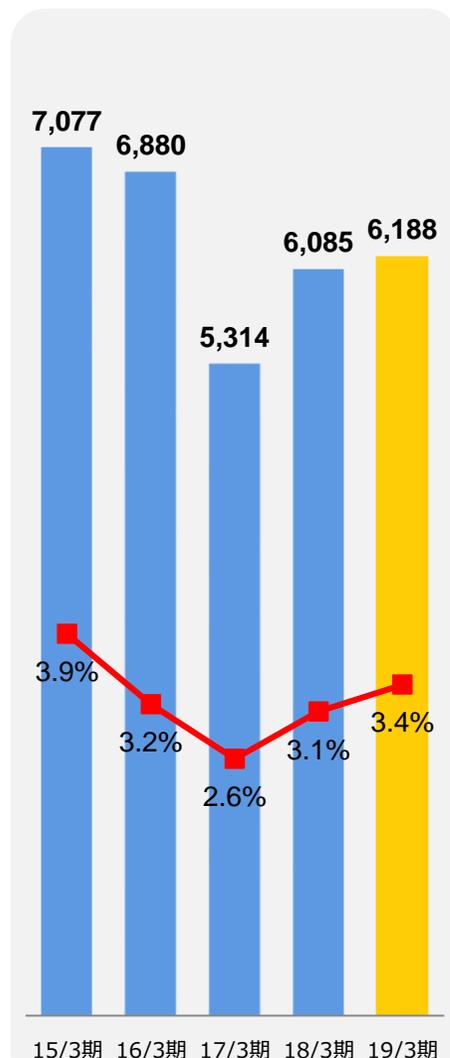
連結売上高 推移



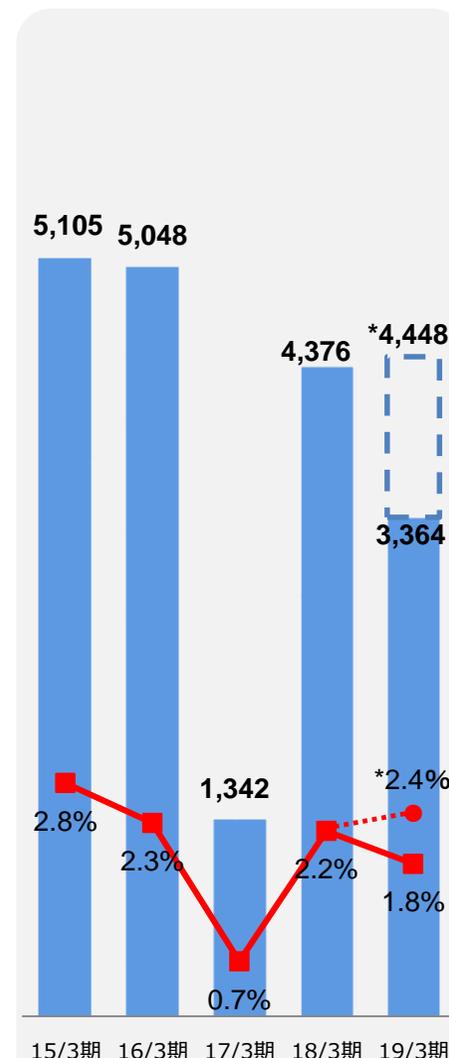
連結営業利益 推移



連結経常利益 推移



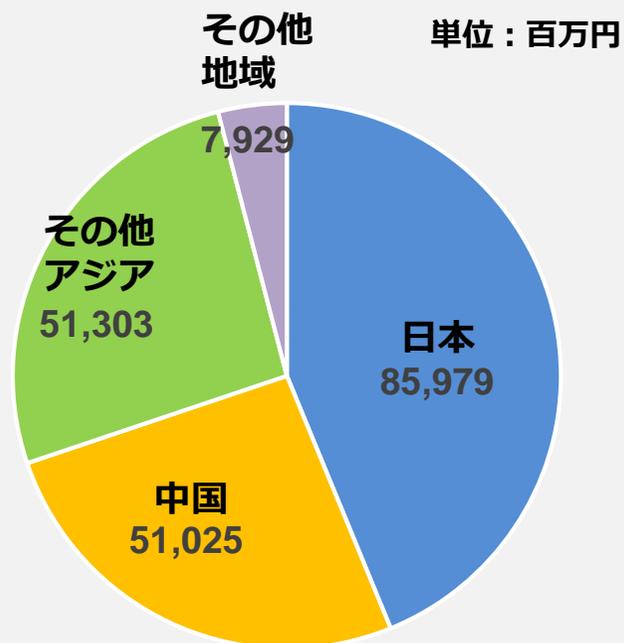
連結純利益 推移



* 特殊要因影響を排除した純利益/純利益率

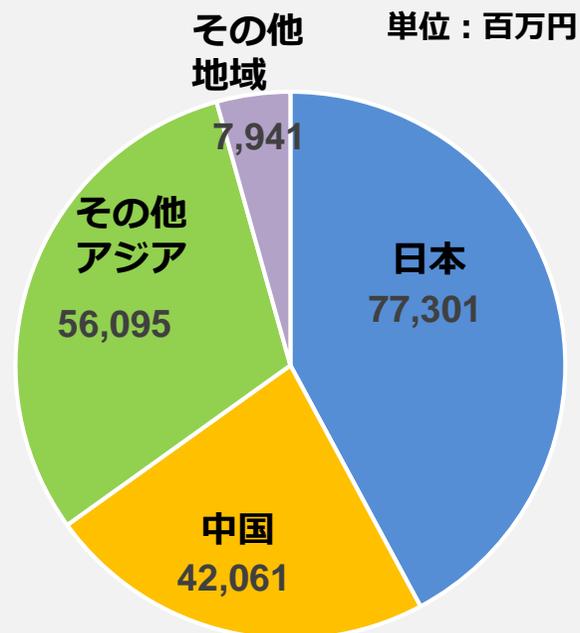
国内・海外売上高

2018年3月期



2018/3月期	売上構成比
国内	43.8%
海外	56.2%
中国	26.0%
その他アジア	26.1%
その他地域	4.0%

2019年3月期



2019/3月期	売上構成比
国内	42.1%
海外	57.9%
中国	22.9%
その他アジア	30.6%
その他地域	4.3%

連結貸借対照表

バランスシート

単位：百万円

総資産 91,835
自己資本比率 52.3%

流動資産 86,073	流動負債 43,597
	固定負債 191
	純資産 48,046
固定資産 5,761	

2018年3月期

総資産 95,667
自己資本比率 52.3%

流動資産 90,495	流動負債 44,291
	固定負債 1,318
	純資産 50,056
固定資産 5,172	

2019年3月期

主な増減要因

流動資産 +4,421

- 受取手形・売掛金 +3,128
- 棚卸資産 +1,617

固定資産 ▲589

- 無形固定資産 ▲195
- 保険積立金 ▲305

負債 +1,821

- 支払手形・買掛金 +541
- 繰延税金負債 +1,122

純資産 +2,010

- 利益剰余金 +1,931
- その他包括利益 +78

連結キャッシュ・フロー計算書

キャッシュフロー

単位：百万円	18/3期	19/3期
営業C/F	19,257	1,009
投資C/F	▲51	74
財務C/F	▲3,547	▲1,401
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲46	138
現金及び現金同等物の増減	15,611	▲179
現金及び現金同等物の期末残高	25,893	25,714

主な増減要因

営業CF

- 税金等調整前当期純利益 +6,164
- 売上債権の増加 ▲2,869
- たな卸資産の増加 ▲1,520
- 仕入債務の増加 +289
- 法人税等の支払額 ▲1,558

投資CF

- 有形固定資産の取得 ▲232
- 保険積立金解約による収入 +378

財務CF

- 短期借入金の純増 +31
- 配当金の支払額 ▲1,432

通 期 業 績 予 想

2 0 2 0 年 3 月 期

e|em

電装化の拡大が見込まれる自動車向け及び 自動化/省力化ニーズの実現に向けた取り組みを強化し増収増益

単位：百万円	19/3期	20/3期	増減(19/3期vs.20/3期)
売上高	183,399	201,000	+9.6%
営業利益	6,335	6,750	+6.5%
経常利益	6,188	6,500	+5.0%
当期純利益 * ()は19/3期特殊要因除く数値	3,364 (4,448)	4,550	+35.2% (+2.3%)
EPS * ()は19/3期特殊要因除く数値	164.34円 (217.30円)	222.24円	—
ROE * ()は19/3期特殊要因除く数値	6.9% (9.1%)	8.8%	—

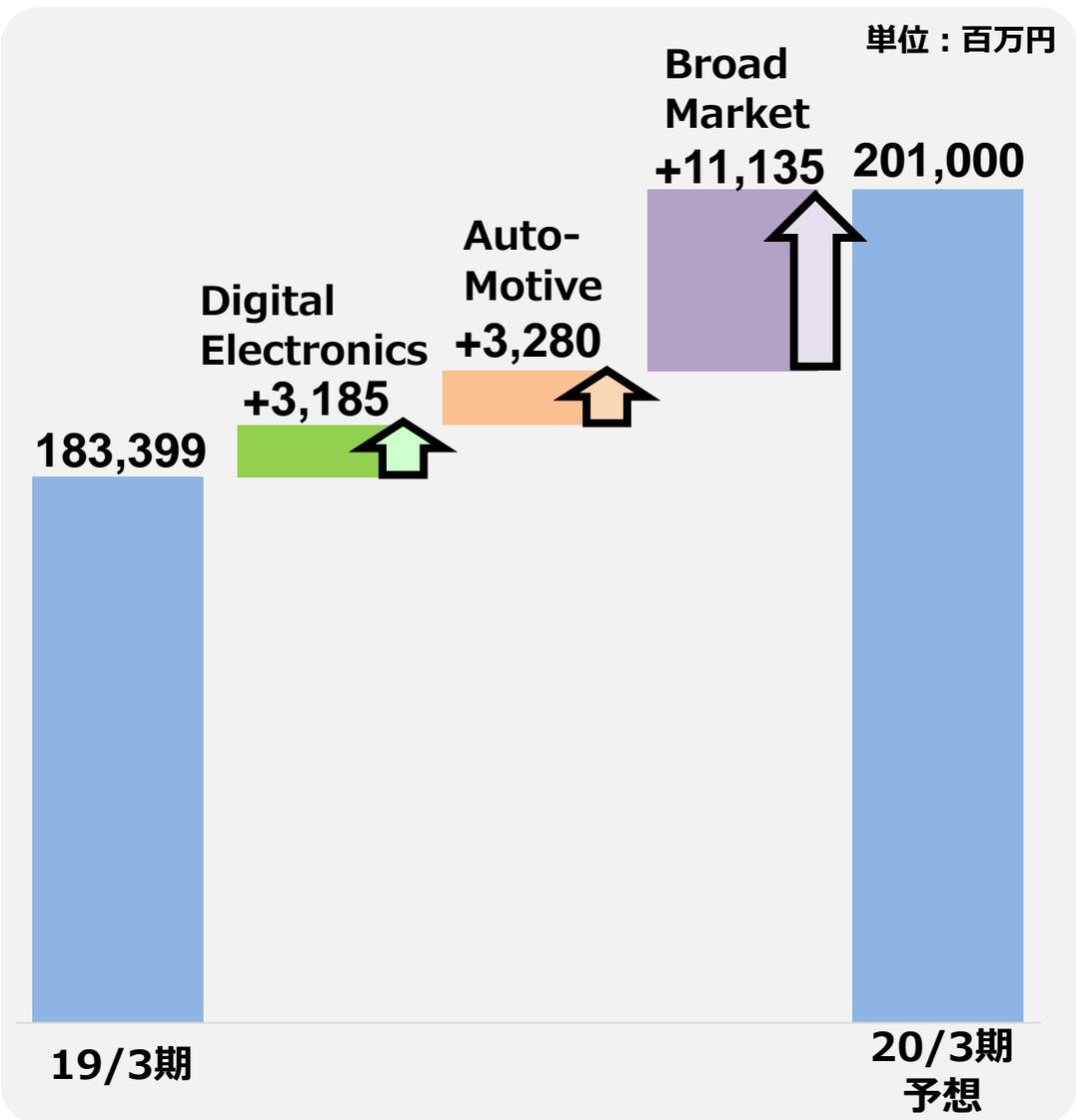
* 【19/3期特殊要因】

：当社グループ内配当方針の見直しに伴い繰延税金負債を計上した結果、法人税等調整額1,084百万円を計上

* 20/3期連結業績予想 前提為替レート USD= 105 円

連結業績予想 マーケット別売上増減要因

前期比 売上高増減内訳



主な増減要因

Digital Electronics

【前期比】 +3,185百万円(+3.5%)
(90,240百万円 ⇒ 93,425百万円)

液晶・TP・BL	+5,343百万円
モバイル端末	▲4,290百万円
黒物家電	▲1,226百万円

* TP・BL=タッチパネル・バックライト

Automotive

【前期比】 +3,280百万円(+12.3%)
(26,780百万円 ⇒ 30,060百万円)

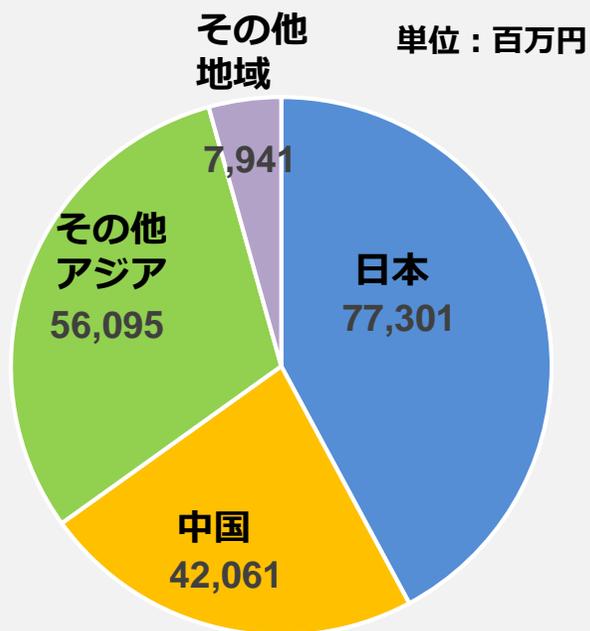
Broad Market

【前期比】 +11,135百万円(+16.8%)
(66,379百万円 ⇒ 77,514百万円)

アフターマーケット	+3,905百万円
産業機器	+1,696百万円

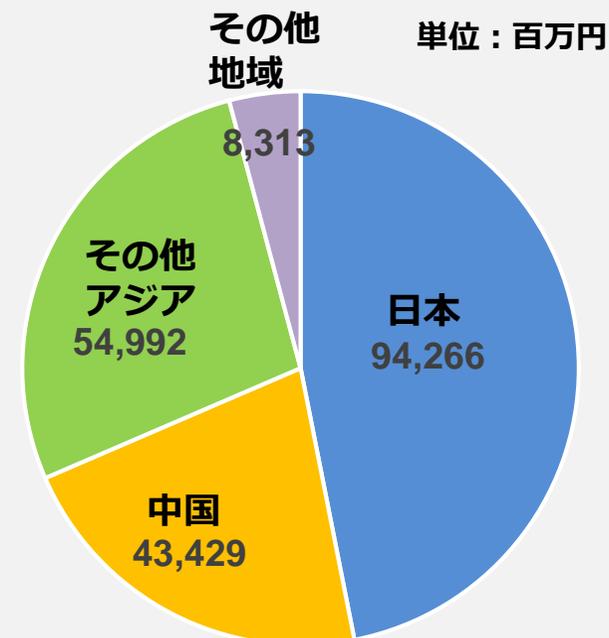
連結業績予想 国内・海外売上高

2019年3月期



2019/3月期	売上構成比
国内	42.1%
海外	57.9%
中国	22.9%
その他アジア	30.6%
その他地域	4.3%

2020年3月期



2020/3月期	売上構成比
国内	43.8%
海外	53.1%
中国	21.6%
その他アジア	27.4%
その他地域	4.1%

株式分割、配当性向引き上げについて

投資単位当たり金額
引き下げ
(株式分割)

配当性向の引き上げ

当社株式の流動性向上、株主還元の強化
により投資家層の拡大を図る

<内容>

株式分割

分割割合：1株につき2株

- ・基準日：2019年5月31日(金)
- ・効力発生日：2019年6月1日(土)
- ・発行済株式数：分割前21,152,473株→分割後42,304,946株

配当性向引き上げ

「30%維持」⇒変更後「40%以上」

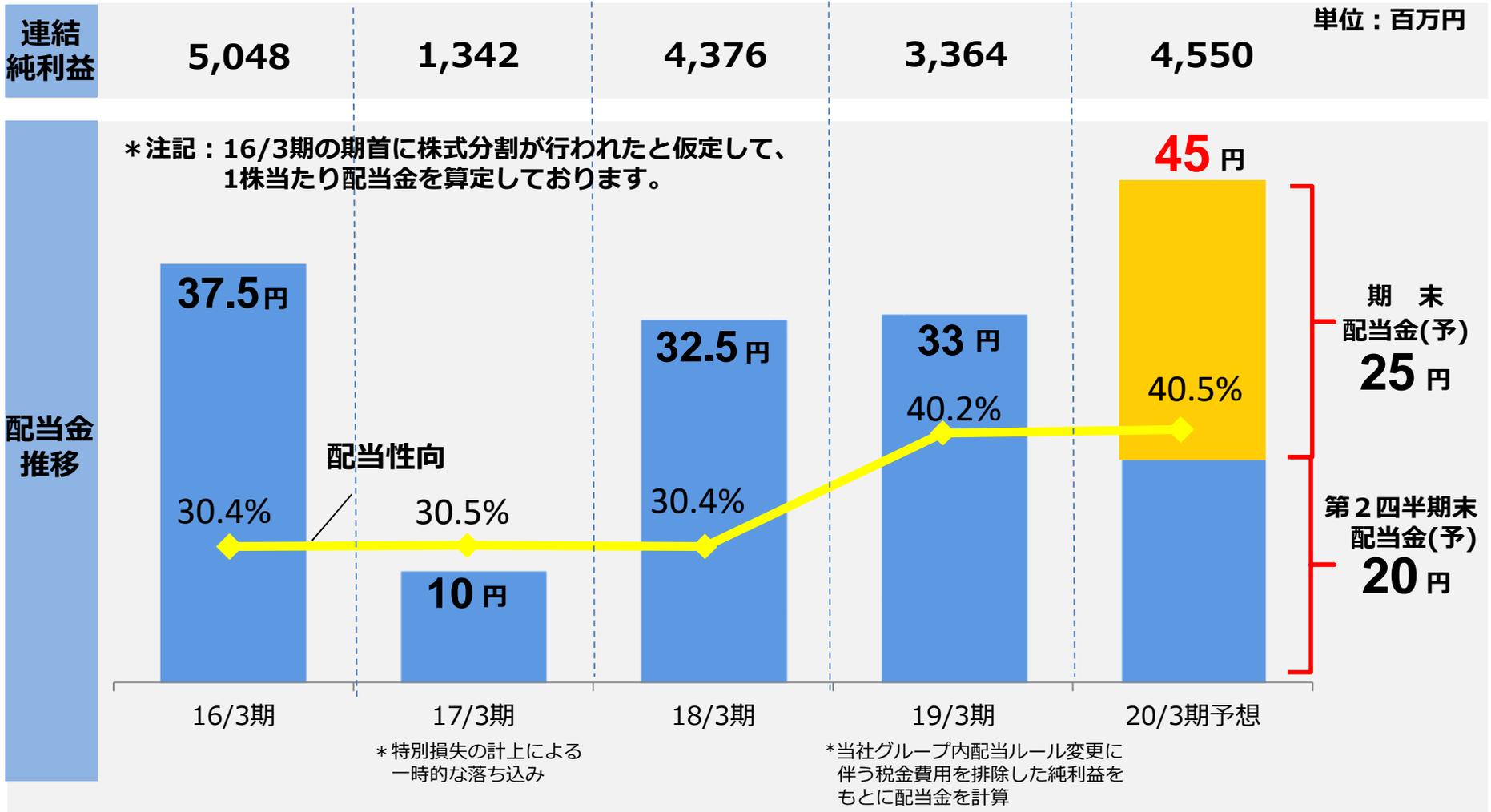
※2020年3月期中間配当より適用

配当方針及び配当予想

株式分割 : 1株につき2株

配当性向 : 30% ▶ **40%以上**

1株当たり年間配当金 推移(株式分割後)



中 長 期 戰 略

e|ematec 

e|em

e|ematec ×

エレマテック・クロス

VISION 1

No.1

電子材料商社として
売上・利益ともにNo.1

VISION 2

Major

世界を代表する
優良な顧客基盤、
仕入先基盤の確立

VISION 3

Innovation

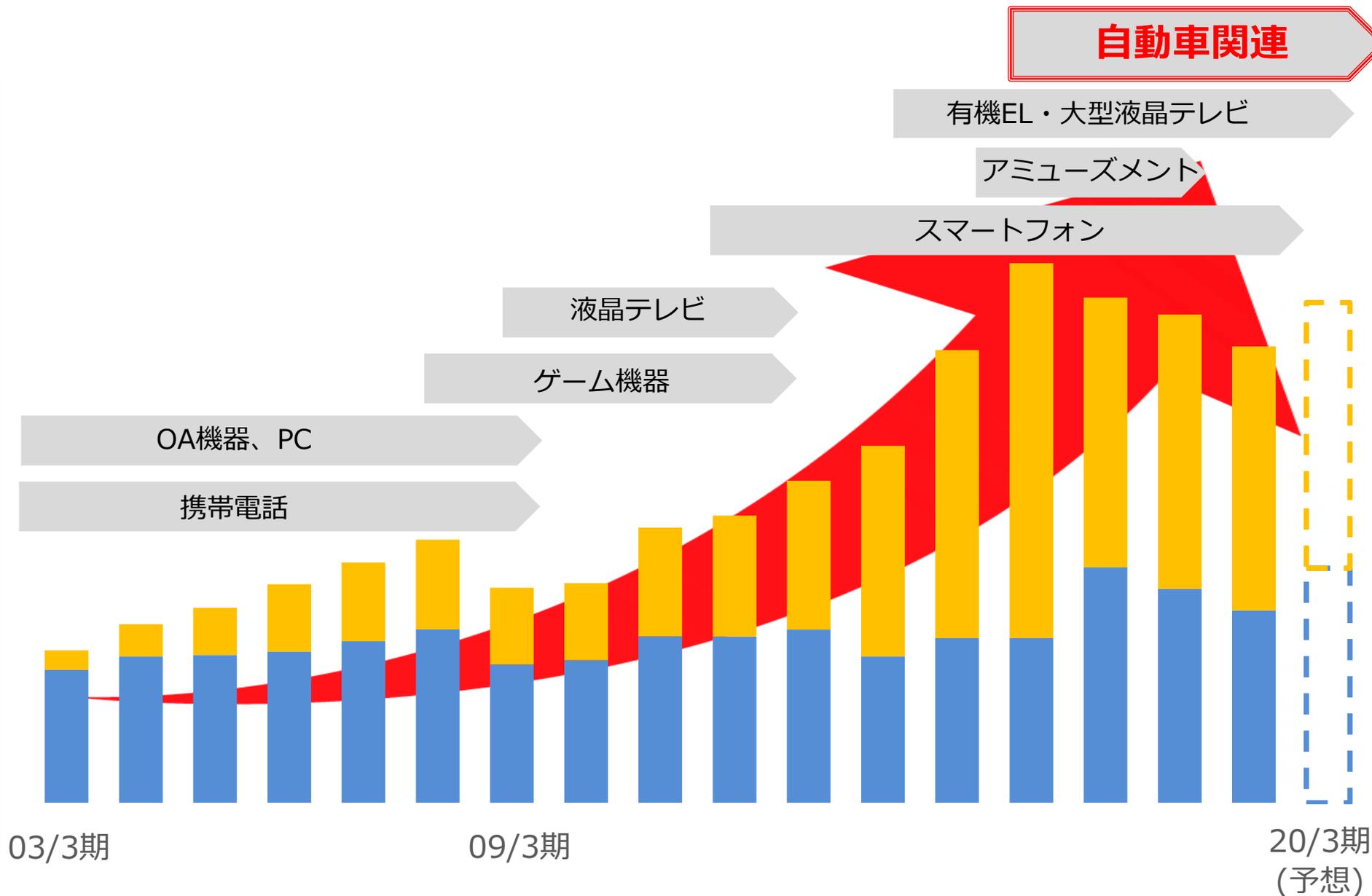
重要テクノロジーを
自ら企画・開発
(顧客ニーズの実現と
高付加価値ビジネスの実現)

VISION 4

Global

新興国を含め
グローバル全体で
国内同様のサポートを実現

「グローバルに高付加価値ビジネスを提供し続ける電子材料商社」を目指す。



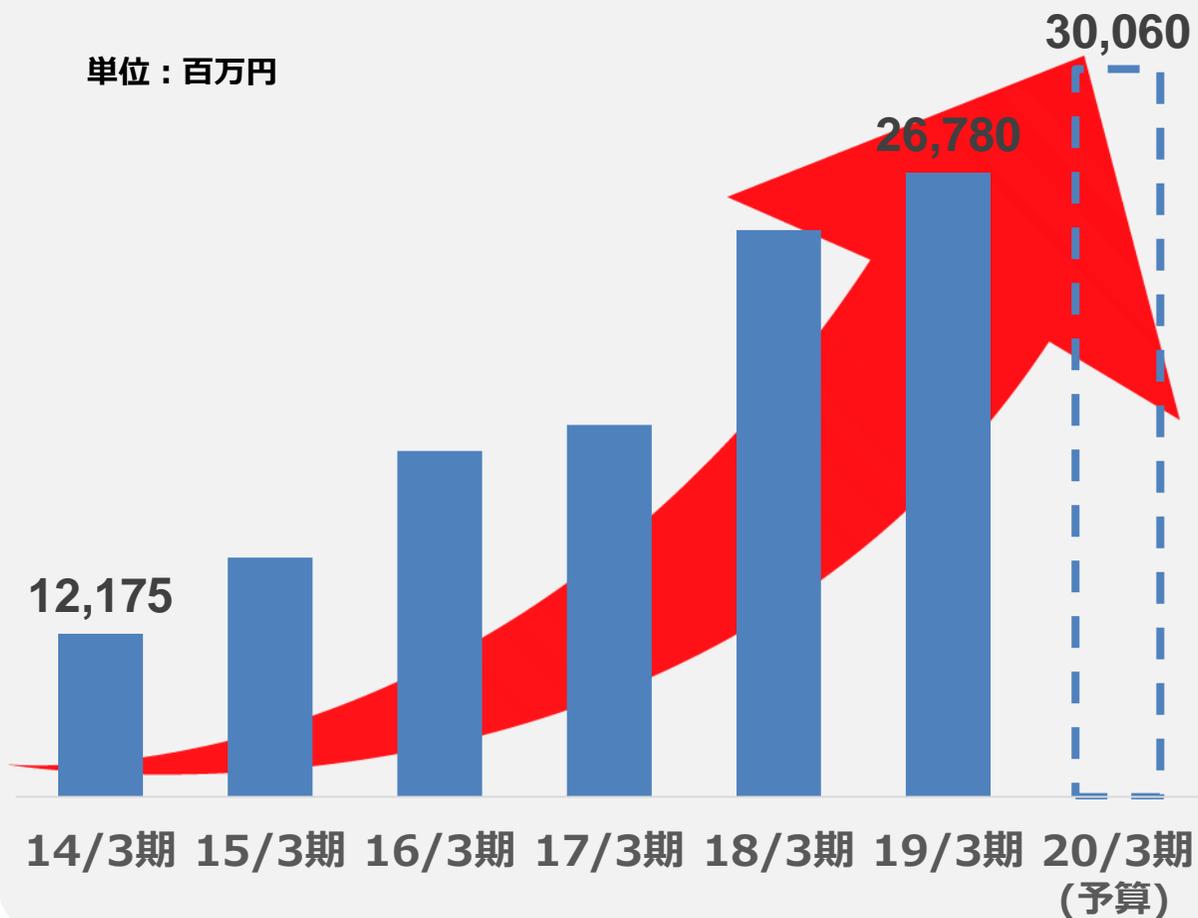
取り組みテーマ

- ① 自動車
- ② 自動化/省力化
- ③ “B to B to C” ビジネスの強化
- ④ 機能強化

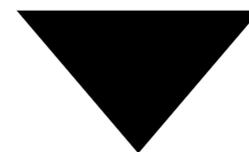
①：自動車

自動車関連 売上推移

単位：百万円



毎年増加傾向



スマートフォンに
代わる成長市場

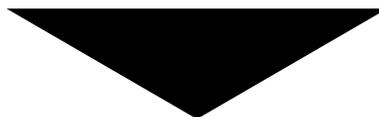
■自動車市場のトレンド

C | コネクティッド
Connected

A | 自動運転
Autonomous

S | シェアリング
Sharing

E | EV化
Electric



エレマテックの取組み

先進運転支援 /自動運転システム

- 車載カメラ
- センサー
- LiDAR 等

EV化

- ヒーター
- センサー
- モーター 等

HMI

(ヒューマンマシンインターフェイス)

- HUD
(ヘッドアップディスプレイ)
- CID
(センターインフォメーションディスプレイ)

豊田通商グループネットワークの活用

豊田通商グループとのシナジーを発揮 =

最先端情報の入手、部材調達先の拡大、物流網の相互利用等
により、**成長スピードを加速させる**

②：自動化・省力化

市場環境

業務効率化、人手不足を背景に
自動化・省力化需要
の急速な高まり



エレマテックの取り組み

**ロボット及びロボット関連システム
の取扱い拡大**

⇒成長市場への取り組みを強化

③：“B to B to C”ビジネスの強化

市場環境

交通事故やあおり運転等
危険運転に対する
消費者の安全対策需要
の急速な高まり



エレマテックの取り組み

**ドライブレコーダー及び
バックアイカメラの取扱い拡大**

⇒バス・トラック等運輸業界及び
保険会社向けへの取り組みを強化

④：機能強化

技術・品質管理能力の強化

開発・設計機能拡充

= “モジュール提案力強化”

品質検査体制強化

= “ロスの削減”

エレマテックの取り組み

「技術Gr」、「環境品質保証室」の機能強化

増員及び設備の拡充を行い
それぞれ「部」へと昇格

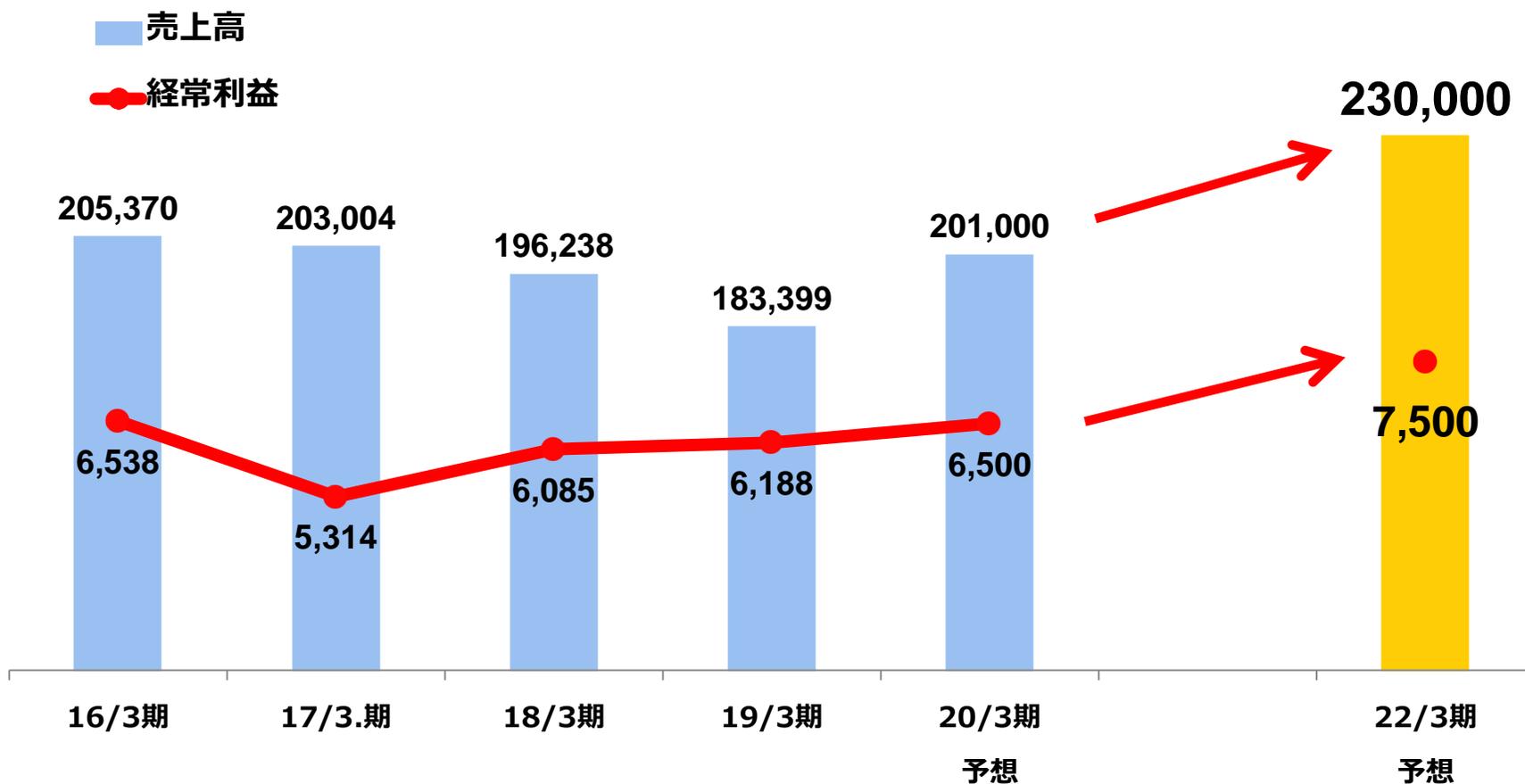
- 「部」へ昇格
- 技術グループ
⇒ 技術部
 - 環境・品質保証室
⇒ 環境・品質保証部

他社との差別化を図り、エレマテックとしての付加価値を提供する

売上・利益推移（予想）

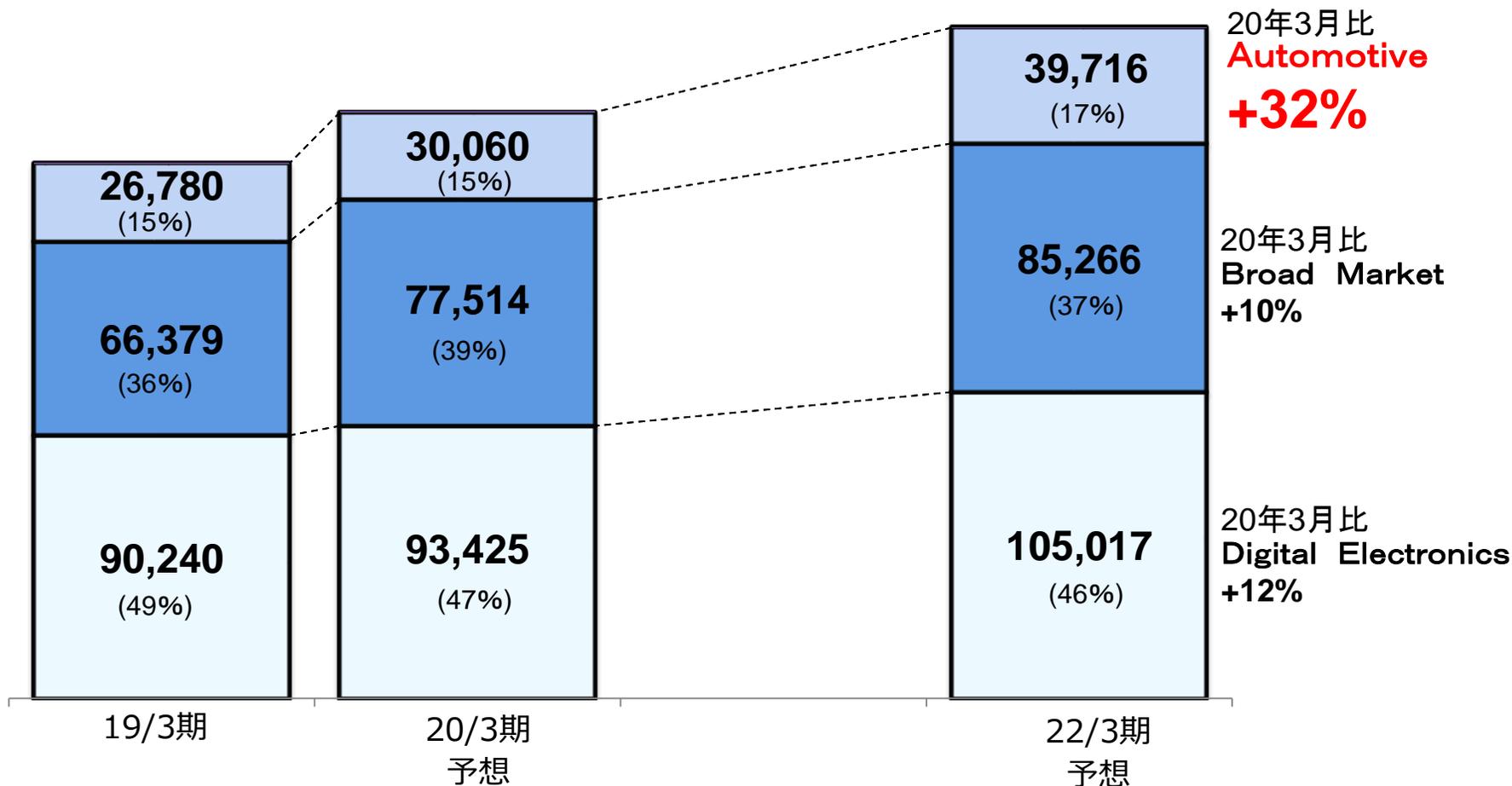
エレクトロニクス化の進む市場環境を追い風に、過去最高益の更新を目指す

単位：百万円



連結業績予想（マーケット別売上高）

Automotiveマーケットの成長を中心に更なる拡大を図る



本日はご来臨賜り、
また長時間にわたりご静聴戴き、
まことにありがとうございました。

e|ematec

エレマテック株式会社

Elematec Corporation

